

第 3 回 全国 在宅 医療 会議	資料	第 4 回 全国 在宅 医療 会議 W G	資料
平成 2 9 年 1 1 月 8 日	1	平成 2 9 年 1 0 月 2 0 日	1-1

重点分野に記載した「具体的な取組」の進捗確認等

- 全国在宅医療会議においては、平成 29 年 3 月に、会議の関係者が、基本的な考え方に沿って実効的に活動していくため、在宅医療の推進に向けて重点的に対応すべき分野等を定めた「重点分野」を策定し、各団体が今後実施していく具体的な取組の予定等をまとめた。

重点分野

(1) 在宅医療に関する医療連携・普及啓発モデルの構築

国民が安心して在宅医療を選択できるよう、在宅医療の提供体制を着実に整備していくことが重要である。このため、自治体や関係団体による体制構築に資するような、医療機関間の連携モデルや構築に至るプロセス等を整理、収集する。

また、国民の視点に立った、分かりやすい普及啓発を実施するため、地域の取組事例についても整理、収集する。

(2) 在宅医療に関するエビデンスの蓄積

国民の主体的な選択に資するような情報を、客観的なデータに基づき示していくことが重要である。そのための以下のような研究を、重点的に推進していく。

(例)

- ・ 疾病の進行や治療等、患者が辿るプロセス等に関する研究
- ・ 在宅医療に適した患者の状態、環境条件等に関する研究
- ・ 在宅医療サービスの有効性、手法の標準化に関する研究

- 各団体が行う取組のうち、特に関係者の関心が高いものや他団体との連携が必要なもの等、主要な取組については、事業の実効性を高めるため、本ワーキンググループにおいて事業の進捗報告を含めた上で、取組の方向性等について意見交換することとしてはどうか。